

事務事業名	体育施設の維持管理業務	事務事業No.	553 - 2
-------	-------------	---------	---------

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
市民協働部	スポーツ振興課	スポーツ施設係	主任	新開 健太郎	課長	瀬尾 善忠
施策体系	総合計画	政策	5	教育・文化		
		施策	5	スポーツの振興		
		基本事業	3	スポーツ施設の整備と活用		
	その他の計画	個別計画	なし			
根拠法令・条例・要綱等	なし					
事業開始年度	不明	事業終了年度	継続	事務事業類型	施設維持管理事業	
実施手法	一部委託	補助金等の支給	なし	実施計画期間	未定	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要	社会体育施設の維持管理及び運営を行うもの。 直営体育施設【筑穂（体育館・グラウンド）、庄内（野球場・体育館・グラウンド）、顕田（野球場・グラウンド・テニスコート）、穂波艇庫、椿運動広場、秋松運動広場】の管理にかかる業務の委託や、工事・修繕を実施するとともに、指定管理施設も含めた市内スポーツ施設予約システムを導入し、利用者の安全確保と利便性の向上に努めている。					
対象	働きかける相手・もの	体育施設				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	点検及び故障個所の修繕、利用者ニーズに基づく施設改修				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう施設管理を行う				

3. 活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
修繕等の実施回数	回	維持補修・修繕件数	20	35	20

4. 成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	利用者数	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
		人	180000	目標値	180000	180000	180000
説明	市管理体育施設の利用延べ人数	方向性	達成目標年度	実績	94425	112335	
		維持	毎年度	達成率	52.46%	62.41%	
指標	使用料収入	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
		円	7000000	目標値	7000000	7000000	7000000
説明	市管理体育施設の使用料収入	方向性	達成目標年度	実績	4386577	5905400	
		維持	毎年度	達成率	62.67%	84.36%	
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実績			
				達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	義務的経費・經常経費	特別会計	-	
予算科目・事業	会計 1	一般会計 款 10	教育費 項 6	保健体育費 目 2	
	大 1	保健体育施設管理運営事業費	中 1	保健体育施設管理費 他 3 事業	
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)	次年度予算(千円)
	正職員	0.43 人 3,525	0.47 人 3,670	光熱水費の高騰及び工事請負費の増額など	0.49 人 3,826
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	会計年度 1級フル	0.98 人 2,849	0.00 人 0		0.00 人 0
	1級パート	0.00 人 0	0.98 人 1,943		2.00 人 3,964
	2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
人件費計(A)	6,374	5,613	7,790		
事業費	直接事業費(B)	33,824	192,629	78,688	
	総事業費(A+B)	40,198	198,242	86,478	
直接事業費のうち の主な歳出内訳	光熱水費	4,814	8,267	10,890	
	維持補修費	2,121	2,484	1,955	
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)	7,385	9,366	11,933	
	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	一般財源	32,813	188,876	74,545	
	その他()				

6. 事務事業の事後評価★

評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価 (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	直営施設であり、行政が維持管理を行う必要がある。
	目的の妥当性	妥当	利用者が安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行っている。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	各施設の需要、緊急性等を考慮しながら、修繕・改修を行っている。
効率性 評価 (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地なし	施設の維持管理に必要な予算を計上をしている。
	負担割合の適正化	適正	条例に定める利用料金を徴している。
	手段の最適性	検討の余地あり	利用団体に施設管理を依頼(施設管理作業員謝礼金の支出)している施設があること、指定管理を行うにあたり事業者が営業利益向上のメリットが少ないことなどから、指定管理者制度の導入に至ってはいないが検討の余地はある。
有効性 評価 (成果/ 活動量)	目標達成度	未達成	令和3年度より利用者数等は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり未達成。
	上位施策への貢献度	貢献できた	各施設の需要、緊急性等を考慮しながら、修繕・改修を行うことで「第2次総合計画」及び「第2次飯塚市まち・ひと・しごと総合戦略」に示す、世代を問わず運動できる環境整備に取り組んだ。
	事業継続の有効性	ある	各体育施設は年々老朽化しており、緊急性があるものから順次維持補修をしており、今後もスポーツの振興のため事業継続は必要である。

7. 前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	各体育施設の状況に応じた修繕予算の割当及び必要な器具の購入を行う。
一次評価	①コスト・成果ともに拡充	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度にも実施できたこと、などを記入

予算の範囲内で各直営施設の修繕を行うことができたほか、各所に必要備品を購入し、スポーツ環境整備に努めた。

8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★

【成果】 穂波B&G海洋センターの内壁修繕や庄内体育館低圧電気切替工事など、施設の緊急性に応じて維持修繕工事をおこなったほか、2,000㎡以上の建築物の定期点検の実施及び各体育施設に必要な器具等の購入を行った。

【課題】 老朽化の建物が多く、計画的に建物修繕・工事対応を行う必要がある。

9. 今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	コスト投入の方向性				評価区分	事務事業の方向性
	拡充	現状維持	縮小	休・廃止		
現状維持	④	②	①		一次評価	②コストは現状維持し、成果を拡充
縮小	③	⑤				
休・廃止	⑦	⑥			二次評価	②コストは現状維持し、成果を拡充
	⑦	⑦				

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策

コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策 大規模改修工事と小規模修繕工事との住み分けを行い、計画的に実施する。

評価変更理由 拡充すべき成果指標を整理検討することを条件に、一次評価のとおりとする。